

**Eight EXPO 2026 にて、
カサナレの生成 AI ソリューション「パーソナル・ナビゲーション」を実装
来場者に応じて情報を最適化、展示会での比較検討と意思決定を支援**

カサナレ株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役：安田 喬一、以下「カサナレ」）は、『現場から未来をつくる』をビジョンに、業務のリアルからイノベーションを生み出すことを目指しています。

この度、2026年2月18日（水）・19日（木）に開催された、名刺アプリ「Eight」（Sansan 株式会社）が主催する「Eight EXPO 2026」において、来場者ごとに最適な情報提供を行う機能「パーソナル・ナビゲーション」が活用されたことをお知らせいたします。

本機能はこれまでの取り組みを踏まえ、案内内容や提示精度をさらに高めた形で展開され、来場者は自身の関心や目的に応じた情報を受け取りながら展示を回することで、比較検討をより円滑に進めることが可能になりました。



**【Eight EXPO 2026】
カサナレの生成AI「パーソナル・ナビゲーション」で、
来場者ごとに最適な情報提示を体験**

■ 「パーソナル・ナビゲーション」について

「パーソナル・ナビゲーション」は、展示会来場者一人ひとりの関心・属性・目的を解析し、最適な情報提供を行う生成 AI ソリューションです。

本ソリューションは、来場者ごとに異なる関心領域を理解し、出展情報やコンテンツを個別最適化して提示することで、情報探索の負担を軽減します。来場者は膨大な情報の中から探し回る必要がなくなり、自身に関連性の高い情報を優先的に受け取ることができます。

▼主な特徴

◆パーソナル RAG と自動連携

ユーザーのログイン情報を、独自開発した RAG システム「パーソナル RAG」と自動連携。ユーザー属性や関心事項を AI が自動解析し、テキストを入力しなくても各人に最適な回答を提供します。

◆1万人1万通りの提案

ユーザーごとに異なるニーズに対応し、1万人に対して1万通りの個別提案が可能。多様性を尊重した情報提供を実現します。

◆情報の最適化によって理想的な出会いを実現

ユーザーの目的や課題に最適化された情報を優先的に表示することで、ビジネスやパートナーシップの機会を効率的に提供し、より良い出会いの実現をサポートします。

■展示会概要

名称：Eight EXPO 2026

▶構成展示会

SDX 第5回 営業DX 比較・導入展

MSX 第5回 マーケソリユーション 比較・導入展

AI-PAX 第2回 AIの実践的な活用展<特設ゾーン> 「産業AX SHOW Zero」

※Eight EXPO 2026 内で3展を同時開催

日時：2026年2月18日（水）・19日（木）10:00-18:00

会場：東京ビッグサイト 南3・4ホール

参加方法：事前申込制（無料）

主催：名刺アプリ「Eight」（Sansan 株式会社）

■次回6月開催：展示会概要

名称：Eight EXPO 2026 夏

▶構成展示会

【SDX 2026 夏】 第6回 営業DX 比較・導入展

【MSX 2026 夏】 第6回 マーケソリユーション 比較・導入展

【AI-PAX 2026 夏】 第3回 AIの実践的な活用展

※Eight EXPO 2026 夏 内で3展を同時開催

日時：2026年6月3日（水）・4日（木）10:00 - 18:00

※基調講演は9：30 から 夜の交流会（1日目のみ）は18：30 からございます。

会場：東京国際フォーラム ホールE

参加対象者：営業、マーケティング、DX・AX推進、情報システム、経営企画、人事、バックオフィス部門の担当者、
経営層、AIによる業務効率化やAIの活用に関心のある方、その他ITツールの導入検討者

参加方法：事前申込制（参加費：無料）

主催：名刺アプリ「Eight」（Sansan 株式会社）

URL：<https://eight->

[event.8card.net/eightexpo/?code=eightexpo2026sm_others_press&utm_source=others&utm_medium=press](https://eight-event.8card.net/eightexpo/?code=eightexpo2026sm_others_press&utm_source=others&utm_medium=press)

カサナレ株式会社について

カサナレ株式会社は、「現場から未来をつくる」をビジョンに掲げ、企業の知的資産を継続的な競争力へと変えるスタートアップです。独自のフィードバックシステムにより、AIの精度が自動で改善される自己進化型の仕組みを実現。さらに、複数のAIが連携して稼働するAIオーケストレーションを支える基盤を構築することで、エンタープライズ企業を中心に導入実績を拡大しています。

2025年には『Forbes JAPAN's AI 50』『Japan Financial Innovation Award』にも選出されるなど、注目のスタートアップとして高い評価を受けています。